

特記仕様書(コピー)に替える

H30.4 改訂

特記仕様書のコピー提出について

- ①社会資本である土木構造物等の目的物は、1品1製造のオーダーメイドであり、固有の現地条件を特記仕様書等で、指定しています。
- ②検査においては、その条件に従って、施工が履行出来ているかどうか、確認を行う必要があります。
- ③従来、別の様式に写し換えて、処理状況を報告して戴いていましたが、受注者側の働き方を考慮すると、工夫の余地があります。
- ④そこで、契約図書である、最終(変更)の特記仕様書の全ページをコピーにより準備し提出をお願いします。
(設計図書の内、日常管理作業で利活用される、それらの電子データの入手については、監督職員と相談して下さい。)
- ⑤特記仕様書の条文に対し、受注者に対応の結果を確認するために、必要に応じて、検査時にヒアリングします。
なお、可能であれば(出来れば)、実施した対応結果を、提出するコピーの余白等に、メモ記入戴けると、円滑に書類検査が出来ます。

出来形管理（施工数量）一覧表

作成責任者

工事名	平成	年度 第	号							工事								H30.4 改訂	
工 種			単位	設計数量 <small>(延長または箇所数等)</small>	施 工 数 量	差	備 考			(補足説明 等)									

- ※1. 工種欄には、大工種、中工種、小工種の順に工種(例: 護岸工→コンクリートブロック工→連節張ブロック工、等)を記入すること。
- ※2. 設計数量は、数量計算書の集計値を基に記入すること。
- ※3. 右下にページ数を記載すること。



工事材料 品質規格 事前確認一覧表

作成責任者

工事名		平成 年度 第 号			工事					H30.4 改訂	
番号	工種	工事材料名	品質・規格	単位	設計数量	製造業者名	左記の所在地	工場JIS(No.)	提出年月日	確認年月日	備 考
						仕入先名		JIS製品(No.)			(工場検査、指定材料等)

※1. 工場立会検査を行うものについては、備考欄に「工場検査」(実施の日付)等を記入すること。
 ※2. 製造業者名、所在地および仕入れ先業者名、所在地を必ず記載すること。
 ※3. 右下にページ数を記載すること。



主要資材一覧表

作成責任者

工事名	平成	年度第	号	工事						H30.4 改訂
番号	工種	資材名	規格等	単位	設計数量	使用数量	確認方法	差	備考 <small>(数量換算式等を記入すること)</small>	

- ※1. 施工計画書の(6)主要資材に記載したものとする。
- ※2. 使用数量欄は、実使用数量を記入すること。
- ※3. 使用材料が複数の工種にわたるときは、使用の最も多い工種に一括計上を可とする。
- ※4. 確認方法は、伝票照合、出荷証明書、空袋確認、監督職員確認、現場技術員確認等を記入する。
- ※5. 右下にページ数を記載すること。



品質管理 一覧表

作成責任者

工事名	平成年度第	号	工事					H30.4 改訂
管理項目			試験(測定)項目	試験(測定)基準	管理 計画 回数	実施 回数	管理方法	備考 (補足説明等)
工種	種別	規格						

※1. 本表は、施工計画書の品質管理計画表に基づき作成すること。
 ※2. 右下にページ数を記載すること。

コンクリート圧縮強度等試験成績一覧表

受注者	
作成責任者	

工事番号	平成	年度第	号	工事名	工事	工種	呼び方	() - () - () - () - ()									
打設年月日	※1 試験年月日	打設量	スラブ (許容差) cm	空気量 (許容差) ±1.5%	塩化物含有量 (許容量) 0.3kg/m ³	温度 ℃	養生方法	1週強度 (N/mm ²)				推定4週強度 推定式 ()	4週強度 (N/mm ²)				※2 備考
								1	2	3	平均		1	2	3	平均	

※1 上段は1週強度試験日、下段には4週強度の試験日を記入すること。
 ※2 材料試験時の立会写真を撮影したものや公的機関での試験については、備考欄にその旨記入すること。(例：監督員立会、現技員立会、建技C 等)
 ※3 工種毎の試験回数が少ない場合は、改頁にこだわらず、工種(呼び強度)毎にまとめて、同一頁に記入してもよい。